

$$\begin{aligned} & \text{ジギトキシシン (C}_{41}\text{H}_{64}\text{O}_{13}) \text{の量 (mg)} \\ & = \text{ジギトキシシン標準品の量 (mg)} \times \frac{Q_1}{Q_s} \times 0.025 \end{aligned}$$

内標準溶液 アセナフテンのメタノール溶液 (3 → 1000000)

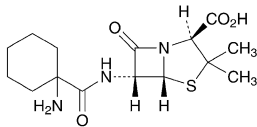
貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

シクラシリン

Ciclacillin



C₁₅H₂₃N₃O₄S : 341.43

(2*S*, 5*R*, 6*R*)-6-[(1-Aminocyclohexanecarbonyl)amino]-3,3-dimethyl-7-oxo-4-thia-1-azabicyclo[3.2.0]heptane-2-carboxylic acid [3485-14-1]

本品は日本抗生物質医薬品基準のシクラシリンの条に適合する。

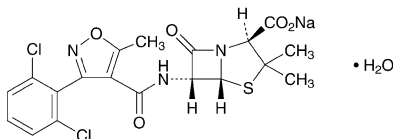
性状 本品は白色～淡黄白色の結晶性の粉末である。

本品は水にやや溶けにくく、メタノールに溶けにくく、エタノール (95) に極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

ジクロキサシリンナトリウム

Dicloxacillin Sodium

メチルジクロロフェニルイソキサゾリルペニシリンナトリウム



C₁₉H₁₆Cl₂N₃NaO₆S · H₂O : 510.32

Monosodium (2*S*, 5*R*, 6*R*)-6-[[3-(2,6-dichlorophenyl)-5-methylisoxazole-4-carbonyl]amino]-3,3-dimethyl-7-oxo-4-thia-1-azabicyclo[3.2.0]heptane-2-carboxylate monohydrate [13412-64-1]

本品は定量するとき、換算した脱水物 1 mg 当たり 850 μg (力価) 以上を含む。ただし、本品の力価は、ジクロキサシリン (C₁₉H₁₇Cl₂N₃O₆S : 470.33) としての量を質量 (力価) で示す。

性状 本品は白色～淡黄白色の結晶性の粉末である。

本品は水又はメタノールに溶けやすく、エタノール (95) にやや溶けやすい。

確認試験

(1) 本品の水溶液 (1 → 2500) につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し、本品のスペクトルと本品の参照スペクトル又はジクロキサシリンナトリウム標準品について同様に操作して得られたスペクトルを比較するとき、同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

(2) 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトル又はジクロキサシリンナトリウム標準品のスペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

(3) 本品はナトリウム塩の定性反応 (1) を呈する。

水分 3.0 ~ 4.5 % (0.1 g, 容量滴定法, 直接滴定)。

定量法 次の条件に従い、抗生物質の微生物学的力価試験法

I. 円筒平板法により試験を行う。

(1) 試験菌 *Bacillus subtilis* ATCC 6633 を用いる。

(2) 培地 培地 (1) の 1) の i を用いる。ただし、滅菌後の pH は 6.5 ~ 6.6 とする。

(3) 標準溶液 ジクロキサシリンナトリウム標準品約 0.05 g (力価) に対応する量を精密に量り、pH 6.0 のリン酸塩緩衝液に溶かして正確に 50 mL とし、標準原液とする。標準原液は 5 °C 以下に保存し、24 時間以内に使用する。用時、標準原液適量を正確に量り、pH 6.0 のリン酸塩緩衝液を加えて 1 mL 中に 10 μg (力価) 及び 2.5 μg (力価) を含む液を調製し、それぞれ高濃度標準溶液及び低濃度標準溶液とする。

(4) 試料溶液 本品約 0.05 g (力価) に対応する量を精密に量り、pH 6.0 のリン酸塩緩衝液に溶かし、正確に 50 mL とする。この液適量を正確に量り、pH 6.0 のリン酸塩緩衝液を加えて 1 mL 中に 10 μg (力価) 及び 2.5 μg (力価) を含む液を調製し、それぞれ高濃度試料溶液及び低濃度試料溶液とする。

貯法 容器 気密容器。